

## 平成29年度第1回印西市学校適正配置審議会 会議録

- 1 開催日時 平成29年6月26日(月)午後2時～4時10分
- 2 開催場所 印西市役所 4階 41会議室
- 3 出席者 篠原 英光 委員、吉田 劭 委員、笹川 博明 委員  
内田 圭子 委員、齊藤 秀樹 委員、石井 秀昭 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 大木教育長、山崎教育部長、高石教育部参事、小那木教育部政策主幹、  
坂木学務課長、岡田主幹、海老原主査、櫻井主査
- 6 傍聴者 3名
- 7 議事 (1) 学校適正配置の進捗状況等について  
①印西市学校適正規模・適正配置基本方針について  
②市内小・中学校の現状について  
③学校適正配置の取り組み状況について  
(2) その他
- 8 議事録 (要点筆記)

事務局 本日はご多用のところ、お集まりいただき、ありがとうございます。  
会議に先立ちまして、何点かご説明とご報告をさせていただきます。  
会議の公開と傍聴規定についてでございますが、当審議会につきましては、原則公開とさせていただきます。また、傍聴につきましては、事務局で傍聴要領を作成しております。この傍聴要領に沿って受付しておりますことをご報告申し上げます。なお、本日の傍聴者は、現在のところ3名でございます。  
次に、「会議の録音及び会議録の署名等について」でございます。会議は会議録を作成する都合により録音させていただきます。また、会議録の署名につきましては、毎回2名の委員の方をお願いしたいと考えておりますが、作成方法を含めまして、後ほどご協議いただきます。  
なお、会議録につきましては、ご署名いただいた後、市役所行政資料室への設置や市ホームページへの掲載を考えております。会議録の公表にあたりましては、発言者の氏名を伏して行いますことを申し添えます。  
それでは、只今より、平成29年度第1回印西市学校適正配置審議会を開会いたします。

はじめに、委嘱状の交付を行います。

【大木教育長より各委員に委嘱状を交付】

ここで、会議の開催について、ご説明とご報告をさせていただきます。

印西市学校適正配置審議会設置条例第7条第2項において、「審議会の会議は、

委員の過半数の出席がなければ開くことができない。」と規定されております。

本日の出席委員は、6名中6名でございますので、同条例の規定に基づく定数に達しておりますことから、ここに会議が成立いたしますことをご報告させていただきます。

続きまして、次第の3「教育長あいさつ」、大木教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長 学校適正配置審議会の開催に際しまして、ご挨拶申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、公私ともにご多用のところ、審議会委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

さて、印西市学校適正配置審議会設置条例の施行から、早いもので2年が経過いたしました。

この2年を振り返りますと、審議会から昨年3月に「印西市立小学校及び中学校の適正配置について」の答申をいただき、いただいた答申を踏まえ、昨年10月に「印西市学校適正規模・適正配置基本方針」を策定いたしました。

この基本方針の目的は、子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の向上を図ることを目的に、本市の学校適正規模及び適正配置の基本的な考え方と実施方策などを示したもので、現在、この基本方針に基づき、学校規模及び配置の適正化に向けた取り組みを進めているところでございます。

本日は、市内小・中学校の現状や、これまでの適正化に向けた取り組み状況等をご説明させていただき、皆様から忌憚のないご意見等を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、次第の4「委員及び事務局職員紹介」に入らせていただきます。

第1回目の審議会でございますので、委員の皆様のご紹介をいたしたく、恐れ入りますが、自己紹介形式によりお願いいたします。

#### 【委員及び事務局職員の自己紹介】

続きまして、次第の5「会長及び副会長の選出」に入らせていただきます。

当審議会の会長及び副会長につきましては、印西市学校適正配置審議会設置条例第6条第1項において、「委員の互選により定める」としております。

また、会議の議長につきましては、同条例第6条第2項の規定において、「会長が会議の議長となる」としてありますが、会長が決まっておりませんので、会長及び副会長が決まるまでの間、山崎教育部長を仮議長として進めさせていただきたいと思っております。山崎教育部長、お願いします。

仮議長 それでは、会長及び副会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

最初に、会長の選出ということでございますが、会長につきましては、印西市学校適正配置審議会設置条例第6条第1項において、「委員の互選により定める。」としております。互選の方法は、どのようにいたしましょうか。

委 員 推薦をお願いします。

仮議長 推薦でよろしいか。

委 員 異議なし。

仮議長 異議がないようですので、それでは、どなたかを推薦していただけますでしょうか。

委 員 篠原委員を推薦します。

仮議長 その他ございますか。

ないようですので、篠原委員に会長をお願いしたいと思います。賛成の方は拍手をお願いします。

【拍手多数】

篠原委員、お引き受けいただけますでしょうか。

委 員 承知しました。

仮議長 会長は篠原委員に決定しました。

続きまして、副会長の選出について、互選の方法は、どのようにいたしましょうか。

委 員 推薦をお願いします。

仮議長 推薦でよろしいか。

委 員 異議なし。

仮議長 異議がないようですので、それでは、どなたかを推薦していただけますでしょうか。

委 員 吉田委員を推薦します。

仮議長 その他ございますか。  
ないようですので、吉田委員に副会長をお願いしたいと思います。賛成の方は拍手をお願いします。

【拍手多数】

吉田委員、お引き受けいただけますでしょうか。

委 員 承知しました。

仮議長 副会長は吉田委員に決定しました。  
会長及び副会長の選出が終わりましたので、議長を会長に交代させていただきます。

事務局 それでは、会長及び副会長より、ご挨拶をいただきたいと思います。

会 長 会長となりました篠原でございます。よろしくお願いします。

副会長 副会長の吉田でございます。会長を補佐して、皆で意見を出し合いながら議論していきたいと思います。

議 長 それでは、次第の6「会議録の作成方法と署名人」に入ります。  
事務局より説明をお願いします。

事務局 皆様にご協議いただきたい内容が2点ございます。  
1点目は、「会議録の作成方法について」でございます。  
会議録につきましては、その作成方法といたしまして、「全文筆記」と「要点筆記」がございます。事務局といたしましては、「要点筆記」の方法により作成させていただきたいと考えておりますが、如何でしょうか。  
2点目は、「会議録署名人について」でございます。  
会議録署名人につきましては、毎回2名の委員の方に署名をお願いしたいと考えております。事務局といたしましては、本日お配りした議長を除く名簿順でお願いしたいと考えておりますが、如何でしょうか。  
以上、2点についてお伺いいたします。

議 長 事務局から説明がありました。1点目の会議録の作成方法について、ご意見

ありますか。

委員 要点筆記で良いと思います。

議長 要点筆記という意見がありました。要点筆記とすることよろしいか。

委員 異議なし。

議長 続いて2点目の会議録署名人につきまして、ご意見ありますか。

委員 事務局案に異議なし。

議長 異議なしと認め、今回の会議録署名委員は、吉田委員と笹川委員にお願いします。

続きまして、次第の7「諮問」に入ります。事務局より説明をお願いします。

事務局 印西市立小学校及び中学校の適正配置について（諮問）

【教育委員会から学校適正配置審議会へ諮問】

議長 只今、教育委員会から「印西市立小学校及び中学校の適正配置について」諮問がありました。

それでは、早速ですが次第の8、議事に入ります。

(1)「学校適正配置の進捗状況について」を議題とします。

事務局の説明をお願いします。

事務局 (1) 学校適正配置の進捗状況について

①印西市学校適正規模・適正配置基本方針について

【資料1「印西市学校適正規模・適正配置基本方針」の概要説明】

②市内小・中学校の現状について

【資料2「印西市立小・中学校の通学区域」、資料3「印西市立小・中学校通学区域図」により、昨年度からの変更箇所（永治小学校の統合及び牧の原6丁目）及び資料4「印西市立小・中学校の児童生徒数及び学級数の推移」の説明】

③学校適正配置の取り組み状況について

【「小規模校」に係るこれまでの取り組みとして、資料5「印西市立永治小学校閉校式典」、追加資料1「広報いんざい5月1日号抜粋 ありがとう永治

小学校」、資料6「宗像小学校の現状等について」の説明】

【「大規模校」に係るこれまでの取り組みとして、原小学校の児童数及び学級数、資料7「小倉台小学校区における通学区域制度の弾力的な運用について」及び資料8「校舎配置図（小倉台小学校）」により、小倉台小学校の校舎増築について説明】

議 長 事務局の説明が終わりました。  
議事を進めていく上で、大規模校、小規模校の区分により議論を進めていきたいと思います。最初に小規模校について議論していきます。  
ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

委 員 複式学級の編制基準について、各学年の人数を再確認したい。

事務局 第1学年を含む場合は引き続く1の学年（2年生）との合計が8人以下で、それ以上の学年の場合は引き続く2の学年の児童数の合計が16人以下の場合は複式学級となります。

委 員 資料4をみると小規模校の中でその人数以下の学年があるが。

事務局 増置教員により複式学級を解消している学級があるためです。こちらの資料は、本年度の実学級を示しているもので、2つの学年の合計が16人以下の学年もあります。なお、複式学級と表示している学校は、増置教員により複式学級を1つ解消しても、なおも複式学級として編制せざるを得ない状況にある学校となります。

議 長 他にご意見等ありますか。

委 員 3点あります。

1点目は、永治小学校についてですが、統合後の児童の様子について、今後、アンケート調査をする予定と聞きましたが、現在、学校からはどのように聞いているのか。また、永治小学校は、地域の皆さまの理解をある程度は得られたから統合に至ったものと考えているが、そのことで、宗像小学校でも参考になることがあったらお伺いしたい。

2点目は、宗像小学校についてですが、平成30年度の統合に向けて協議を進めていきたい旨のお話をしたとのことですが、地域の皆さまは反対意見が多いような印象を受けています。その辺は、どのようになっているか。学校規模

からみると24名という状況が厳しいというのは分かるが、地域の皆さまの理解という点でどのように思われているのか。

3点目は、印西市は学校の大規模化と小規模化が急激に進んでいるが、文部科学省が手引きを示した時期に県内などでも統廃合が進んでおり、近隣自治体の状況を確認したい。また、その後、国から何らかの通知等はあったのか。

事務局

1点目の統合まで永治小学校に就学していた児童の様子につきまして、木刈小学校及び大森小学校からのお話では、順調に学校生活を送っているとのことでした。但し、各家庭での様子は聞いていませんので、事務局としても直接状況を確認・把握するため、アンケート調査を実施したいと考えています。

次に2点目の宗像小学校の現状については、保護者の皆さまからは、未就学児の保護者と既に就学されている保護者とでは、意見に違いがある印象を受けています。当然のことながら、既に就学している保護者の大半は、宗像小学校からの卒業を希望しており、未就学児の保護者の大半は、現在の宗像小学校の状況に課題を感じているのではないかと思います。一方、地域においては、宗像小学校を残したいという思いが強いと感じています。学校は、第一義的には、子どもたちの教育の場ですが、他の役割も多く担っていることから、学校が無くなると地域がなくなり、より少子高齢化が進むことを危惧しているのではないかと思います。互いに宗像地区の子どもたちのためという部分では一致していますが、改善策の部分では視点が違うところもありますので、丁寧に説明しながら進めてまいりたいと考えています。

3点目の近隣自治体の学校統廃合の状況ですが、平成27年1月に文部科学省より「公立小学校及び中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」が通知されましたが、その後、新たな通知等は受けておりません。今回の手引きの特徴は、これまでの通学距離として示されていた小学校4km、中学校6kmに変更はないものの、交通機関の活用を含め、通学時間をおおむね1時間以内とする内容が盛り込まれ、通学条件が緩和されたことにあります。近隣自治体の学校統廃合の状況につきましては、平成28年度末時点では、香取市の佐原第三中が佐原中に、多古町の多古第二小が多古第一小に、匝瑳市の匝瑳小が八日市場小に、その他、富里市の洗心小、本市の永治小が隣接校へ統合しています。

議長

永治小学校の統合が、次の統合の際の参考となる部分があるのではないかとのお話がありました。委員の中で何かご意見があればお願いします。

委員

子どもたちは順応性が高く、統合後の新しい学校生活にも馴染んでいると聞いています。当初は不安を抱えていた児童もいましたが、統合前に交流活動を

実施したことにより、顔見知りの子どもができたこと、また、クラス編成時の配慮により、永治地区の児童が同じクラスにすることで、スムーズな統合ができたものと考えています。地域からは、学校が無くなり寂しいという思いと、学校跡地がどのようなになるのかという声が聞こえてきます。準備段階の交流活動などにより、子どもたちの不安を少しでも取り除いていくことで、よりスムーズに移行できるのではないかと考えます。

委員 地域住民に対して校長先生が説明する機会があったのか。

委員 地域住民に対しては、在校生の人数が少ないため、一人ひとりが活躍する場が多くなり、よく面倒をみることができるという反面、運動会では、1学年1レースで結果が決まってしまう、また、用具係りもすべて保護者をお願いをしていることや、学校で何かを発表するにしても3人で終わってしまうなど、どうしても多様な意見に触れたり、切磋琢磨するという部分で無理が生じてしまうことなどをお話しました。

議長 小規模校はここまでとして、次に大規模校について議論したいと思います。

委員 小倉台小学校については、資料7の学区外就学の柔軟な対応により、新1年生8名が内野小学校に就学した旨の話を聞きましたが、既に在籍していた児童の異動はあったのか。

2点目は、校舎の増築が本年度末に完成することで8学級増となりますが、既存校舎の部分には改築等で何教室増えたのか。また、学習環境はどのような状況となっているのか。

原小学校については、次年度には通常学級が増加し、特別支援学級も増加することも想定される。戸建住宅を中心に開発が進むことから検討が必要とのことで、現時点での検討状況は如何か。

事務局 小倉台小学校から内野小学校に異動した在校生に関して、詳細な人数は手元にありませんが、2年生～6年生で数名程度異動したと認識しています。なお、今後は新入生の異動が多くなる可能性がありますので、次年度の入学者に対して、再度、周知をしてまいりたいと考えています。

次に教室数については、既存校舎のオープンスペースの改修による増が6教室、コンピューター室の活用により1教室増で、現在、36教室を保有している状況です。更に増築により、8教室が増加することとなります。次年度からは、増築部分を優先的に活用することで、教育活動が展開されるものと考えて



います。

次に原小学校については、ランチルームを改修して2教室分を確保しましたので、現在、26教室を保有している状況です。小倉台小学校との違いは各フロアにオープンスペースがないことで、これ以上は施設内で教室数を確保することができませんので、不足教室数を精査しながら検討を進めている状況です。

委員 本日の資料1「印西市学校適正規模・適正配置方針」の中の参考資料2にある学級数は特別支援学級数が含まれていないことから、通常学級に加えて2学級ないし3学級は教室が必要になってくるのではないかと。

事務局 次年度以降に入学する未就学児が通常学級なのか、特別支援学級なのかは、住民基本台帳データでは判断できませんので、通常学級の児童数として推計しています。

委員 児童数の増加は、市として予測できなかったのか。予測が難しいのは理解できるが、現状として、大規模校は1,000人を超えているのに小規模校は24人と、地域によって児童数のバランスが良くない。このような市は他で探してもなかなか無い。

小規模校については、宗像小学校の児童数がかなり少なくなってきたが、昨年度の永治小学校は、1年生と3年生が欠学年で、2年生と4年生で複式学級を編制していた。欠学年があると今年は卒業式がないなど、子どもたちにとって現在の環境が良いのかということに加えて、永治地区は木刈地区と近いという環境であった。

宗像小学校については、学区が広くいには野小学校までの距離が遠いという部分は気になるが、集団生活の中で切磋琢磨することを通じて学ぶことが多い。また、学区外就学も少なく、永治小学校と比較して考えると宗像小学校の難しさを感じる。なお、統合を進めるのであれば、統合の方向性が確定してから、新年度を迎えるようにしなければならない。

事務局 南環状線南側の市街化調整区域でのミニ開発は予測がつかず、住宅地の開発情報だけでは、児童数の推計が大変難しい地区もあります。事務局としては、児童数の推計にある程度幅を持たせて推計していますが、1年経過すると既に予測と異なっている部分もありますので、今後も情報収集しながら、適切な対応が図れるよう努めてまいります。

委員 他市等に児童を通学させることは可能か。

事務局 受入れ先の教育委員会から了承が得られれば可能ですが、数十人の規模になると難しいと思います。

議長 難しい問題ではありますが、今後も、これまでの事例を参考にしながら議論を進めていきたいと考えます。

本日は、答申をまとめることはできませんが、子どもたちのために考え方がぶれないように議論を進めていきたいと思ひます。

議長 (2)のその他はありますか。

事務局 特にありません。

議長 以上で本日の議事は終了します。進行を事務局へ戻します。

事務局 ありがとうございます。次第9その他、(1)事務連絡をさせていただきます。

**【委員報酬について説明】**

事務局 それでは、以上をもちまして、平成29年度第1回印西市学校適正配置審議会を終了させていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。

会議資料

- ・資料1 印西市学校適正規模・適正配置基本方針
- ・資料2 印西市立小・中学校の通学区域
- ・資料3 印西市小・中学校通学区域図
- ・資料4 印西市立小・中学校の児童生徒数及び学級数の推移
- ・資料5 印西市立永治小学校閉校式典
- ・資料6 宗像小学校の現状等について
- ・資料7 小倉台小学校区の通学区域制度の弾力的な運用について（お知らせ）
- ・資料8 校舎配置図（小倉台小学校）
- ・追加資料1 広報いんざい5月1日号抜粋「ありがとう永治小学校」

平成29年度第1回印西市学校適正配置審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成29年8月8日

委員 吉田 劭

委員 笹川 博明